

生きものと出えるフィールド紹介

まもりやまテラス

所在地: 世田谷区代田6-21-5



区立守山地区会館、区立守山保育園、まもりやま工房からなる複合施設で、旧守山小の跡地を活用してオープンしました。小学校時代から地域住民とともにピオトープやウッドデッキ作り、生きものと呼び寄せる木の植栽などが行われていましたが、地域に開かれた場として現在も活動が引き継がれ、「まもりやまテラスの会」が運営しています。

小鳥の森
当時子どもたちが名付けた場所、小鳥のフンに混じっていた種から出来た茂み。鳥のお気に入りの場所です。

畑
まもりやまテラスの会の部活動として「まもりやまはたけ部」が野菜を育て、収穫祭なども開催。枯れ葉などは堆肥として畑の土づくりに利用しています。その周りに置かれた旧花見堂小で採集した樹木は、生きものすみかになっています。

フルーツランド
小学校時代に実のなる木を植えたスペース。「夏みかんプロジェクト」では収穫と配布を行っています。

カエルの隠れ家
「テラスdeカエルさかし隊」でカエルの隠れ家をつくりました。コクワガタを呼ぶクヌギの木もあります。



ピオトープと観察デッキ
4月にヒキガエルの卵&オタマジャクシの観察、9月に夜の虫さかしなどを開催。誰でも記載できる観察ノートを設置し、情報ボードで生きもの生態を共有しています。

ミトコンさん(まもりやまはたけ部代表)

ある日、はたけ部で菜園の黒マルチを剥がすと冬眠していたヒキガエルに遭遇して子どもたちは大喜び!ここは世田谷区の中でも都心に近い複合施設。「みんなの憩いの場と自然と触れ合える地域の拠点を作りたい!」とかつて小学校だった頃から活動を始めて20年以上経ちます。当時作ったデッキのあるピオトープには今も毎年ヒキガエルが卵を産み、夏から秋には様々なトンボ、真庭には鳥や蝶を呼び寄せるナツミカン、レモン、キンカン、ブルーベリー、グミ、鳥たちが作った小さな木立もあります。お近くには是非遊びに来てほしいです!

まもりやまテラスのピックアップいきもの紹介
- ヒキガエル -

ピオトープ周辺には、ヒキガエルのすみかがあります。「テラスdeカエルさかし隊」のイベントでは、池にいるオタマジャクシや卵の観察会を行っています。カエルの行動を調べ、旧花見堂小の木や枝でカエルが隠れやすい場所をつくりました。また秋には、畑にしかけた虫とりトラップを見て回る夜の虫さかしを開催しました。ピオトープの近くには誰でも記載できる観察ノートを設置していますが、イベント後もオタマジャクシが成長していく様子などの報告が寄せられています。

その他の生きものピックアップ

チョウ類 ~三年の記録から~

調査の対象にもなっているアゲハチョウ類は、公園や家の周りなどでたいへん多く報告されています。またその他の種類もいろいろ報告されています。そこで、今回はチョウ類についてご紹介いたします。2022年から2024年の3年間で、チョウ類は41種の報告が寄せられています。チョウ類は幼虫のイモムシの時は草や木の葉などを食べます。成虫になると、花の蜜や樹液をもとめて飛び回ります。ですから、3年通して見られている種類が多々が、公園や学校、自宅の庭の花壇や植え込みなどでの報告が多いのは、幼虫の時の草や木、成虫になってからの蜜や樹液が、そこにあるからでしょう。また、1回しか記録のない種では、以前はよく見られたツマキチョウの記録が減っているなど、ちょっと気になるところもありますね。



2022年~2024年に報告されたチョウ類		
報告回数	種名	種類数
3回 (毎年報告)	アゲハ アカボシゴマダラ アオスジアゲハ ツマクロヒョウモン モンシロチョウ サトキマダラヒカゲ キタキチョウ ヒメジャノメ イチモンジセセリ コミスジ クロアゲハ キアゲハ ベニシジミ チャバネセセリ ヤマトシジミ キマダラセセリ ゴマダラチョウ モンキチョウ ルリタテハ キタテハ ヒカゲチョウ アカタテハ ヒメアカタテハ ムラサキシジミ ジャコウアゲハ ツバメシジミ ウラギンシジミ ホシミスジ ルリシジミ	29種
2回	ウラナシシジミ ムラサキツバメ カラスアゲハ ナガサキアゲハ クロノマチョウ ヒメウラナシジャノメ コムラサキ	7種
1回	アサキマダラ スジグロシロチョウ ツマキチョウ トラフシジミ	4種
5科41種		

寄せ植えを作ってチョウを呼んでみよう!

成虫は広く飛び回って行動するため、小さな花壇などでも見つけてやってきてくれます。世田谷にはたくさんのチョウ類が住んでいるので、お庭やベランダに小さな花壇を作ったら、きっとやって来てくれるのではないのでしょうか。

事務局から生きものを呼ぶ「ちょこっと空間」をつくってみよう

世田谷区では「ちょこっと空間づくり」を推進しています。自宅の庭やベランダ、店先などで、生きものが集まる小さな空間を作りませんか? トンボや野鳥を呼ぶ水鉢や、蝶を引き寄せる寄せ植えなど、身近にできる活動で生物多様性を育みましょう! 「ちょこっと空間」の詳細な作り方は、世田谷区ホームページをご覧ください。



発行: 世田谷区みどり33推進担当部みどり政策課
〒158-0094 世田谷区玉川11-20-1 電話: 03-6432-7905
発行日: 2025年3月

調査期間
2024年5月3日~10月14日

第1位
アゲハチョウ類 (217件)

第2位
オナガ (51件)

第3位
カマキリ類 (46件)

4位
カブトムシ & クワガタ類 (27件)

5位
ヤマモリ (18件)

8位
カナヘビ & トカゲ類 (16件)

10位
ツバメの巣 (5件)

12位
ハビ類 (3件)

15位
ヒゲナシ (1件)

まちの生きものしらべ 2024

報告件数ランキング 2874件
総数

世田谷区では、子どもから大人までたくさんの方に参加していただき、まちの生きものしらべを行っています。この調査は2015年から始まり、今年で10年目になります。みなさんから届いた報告をもとに、人も生きものも暮らしやすい世田谷にするためにはどんなことが必要か、みなさんといっしょに考えていきたいと思っています。

5位
ヒキガエル (18件)

7位
カタツムリ (17件)

9位
クマゼミ (11件)

12位
ハブビシム (3件)

14位
タヌキ (2件)

調査対象の15種は、世田谷の自然環境を評価する指標種です。誰でも観察がしやすく、自然環境や生態系の変化を示してくれる可能性がある生きもの15種を、指標種として選びました。調査を続けることで、その生きものが暮らす場所や環境の変化がわかり、世田谷の生物多様性や生態系の活気さの確認につながっています。

これまでのニュースレターや皆さんから頂いた写真などはこちらから
世田谷区 まちの生きものしらべ 調査結果 で検索

生きものしらべ調査結果 音声コード